

沖縄県議会 沖縄自民党会派 県議 吳屋 宏



発行／吳屋宏
沖縄県議会会派沖縄・自民党
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-2-3 6階
電話:098-866-2754
FAX:098-866-2773

県民の皆さん、昨年も議会報告を出させてもらいましたが、前議会報告書は前年度まで約二年間の活動した報告書がありました。今年度の報告書は、政策も一部含まれますが、市町村長との沖縄の将来像について、対談方式となっています。

宜野湾市の課題解決に取り組むのは当然のことですが、沖縄全体の活性化が宜野湾の活性化につながることになると信じています。宜野湾市の交通渋滞の緩和も、経済の活性化や教育・福祉の問題も周辺市町村の協力なしでは達成できません。

私の目標は、「沖縄県内どこに住んでも、沖縄らしく暮らしやすい県づくり」です。

私は、都市化した地域が沖縄らしい地域だとは思えません。

過疎化した地域も暮らしの環境を整える必要があると考へています。

この報告書が、県民が等しく考える「暮らしやすい沖縄づくり」の一助になれば幸いです。

現在取り組んでいる渋滞対策

私が、現在取り組んでいる渋滞対策は

①喜友名一真志喜線(パイプライン)

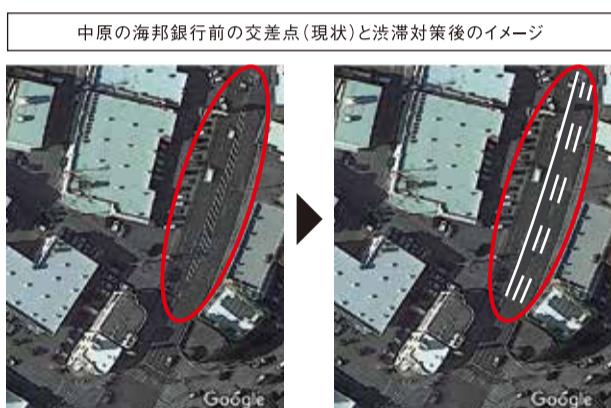
を改良し、市道から県道に格上げして新設する方式です。

②大謝名一真栄原の県道三十四号線の拡幅工事を行なうことです。

③普天間交差点と北中城インターを直結する、県道をつくることです。

三つの中でも、少し進展しているのが、喜友名一真志喜線を県道に格上げすることは県側も市側も了承し、どこを通すのか現在ラフ案をつくり議論している状況です。

次に、県道三十四号、大謝名一真栄原線ですがこの道路の問題は、坂の勾配が大きすぎることも問題であります。



渋滞対策に即効性があるのは、信号機など の調整で解決へ

昨年、喜友名区からの連絡で、伊佐から上がってくる県道八十一号線から喜友名区に右折する信号機が時差式信号機でなかなか右折できない状況にあった。

右折の時差の秒数を長くすることで解消することができ、区民の皆さんに喜ばれている。

この方法は、ほかの時差式信号機でも応用することでき、渋滞を起こしている時差式信号を注意して観察することにしている、現在は普天間交差点の渋滞解消のため、右折する時差を調整しているところです。

もう一つの渋滞対策が、中原の海邦銀行前の交差点で、普天間から中原に入る(市道十一号)の右折帯が短く、センターポールの撤去を行い、右折帯を延長することです。

吳屋県議の提案で スミソニアン博物館へ



岸本健英代表理事・山田洋司事務局との意見交換

このプロジェクトは いつからあつたの?

国立自然史博物館を沖縄に誘致する事業は、平成二十七年翁長雄志知事の時に、沖縄振興計画に採用されました。

一昨年の十月の決算委員会で私がこの件を質問したのをきっかけに、東京にある自然史博物館設立準備委員会から電話をいただきました。

それ以来、設立準備委員会からは毎月多い時で五、六回の電話があり現在に至っています。

この件を質問したのをきっかけに、東京にある自然史博物館設立準備委員会から電話をいただきました。

一昨年の十月の決算委員会で私がこの件を質問したのをきっかけに、東京にある自然史博物館設立準備委員会から電話をいただきました。



スミソニアン自然史博物館のシンボル的な象

沖縄県議会全体が 夢の実現へ一致

「国立自然史博物館誘致」このテーマに保守・革新の対立はありません。

みんなが明日の沖縄を考えたときに「第六次沖縄振興計画」の目玉事業になり得るプロジェクトだと考えていることだと思います。

私は、これまで行政任せにしてきたことが進行しなかった原因だと考えています。

今後は、議会側がこのプロジェクトを推進する役目を担っていると考えています。

国立自然史博物館 誘致へ

ニアン博物館の視察日程を提案しました。

土木委員会は自然史博物館がどのようなものなのか、視察しておきたいたと考えるのは普通の事であり、今後の沖縄観光を安定的に推移させるためにも、誘致をしたいと委員全体会員がそう思っていたと思います。

「国立自然史博物館誘致」は、県民運動に発展させなければなりません。そのためにはこのプロジェクトを県議会が共有する必要があり、更に県庁職員もプロジェクトを熟知する必要があります。

その人たちが、県民に説明を行うことで、一大県民運動になることを信じています。

もう一つの難所である、「国立」でつくるという事は、国家プロジェクトであり、県民が盛り上がるだけでは実現は不可能なことがあります。

東京以外に国立でという自然史博物館はありません。

東京に、国會議員でつくる国立自然史博物館設置のための議員連盟を結成させなくてはなりません。

このハードルは、これまで以上に十倍・二十倍の高いハードルです、このハードルを越えるには、衆参・保革の沖縄選出国会議員が一つならなければならない大きな壁だと考えています。



恐竜の剥製

政党活動ではない、政策での本当のオール沖縄を期待したい。

東京に、国會議員でつくる国立自然史博物館設置のための議員連盟を結成させなくてはなりません。

このハードルは、これまで以上に十倍・二十倍の高いハードルです、このハードルを越えるには、衆参・保革の沖縄選出国会議員が一つならなければならない大きな壁だと考えています。

計画実現への
これから活動は?

離島だからできること

私たち政治家は、本当に離島・過疎地域に正面から向き合っているでしょうか？

小規模離島であればあるほど、過疎が進む地域であり、過疎は未だに進んでいます。「過疎は負け組ではありません」「過疎を負け組にしてはいけません」。私は、小規模離島だからできることが必ずあると考えています。都会の真ん中に「養豚場」はできません。現代社会の課題は「都会」にあることを政治家は知らなければいけない。「児童虐待」や「DV」「待機児童」などは、都会の問題であり、過疎地区にはほとんど存在していません。

エイム株式会社
代表取締役社長
鈴木 幸典



対談相手

エイム株式会社
代表取締役社長
鈴木 幸典

EV車という事です。

全国に、確かに自動車製造にかかわっていない県は沖縄だけだと思います。製造業の弱い沖縄が、県内だけではなく、全国の小規模離島や過疎地域に沖縄から供給されることが大事だと思います。

**沖縄がつくる車で
小規模離島・過疎に希望を**

このプロジェクトは私が目標にしてきた小規模離島と過疎対策にマッチしているものだと考えています。希望が持てますね？

この車の特徴を考えると、私たちのような高速道路があるようならではあまり使うことができないようになっていますが？

この通りで、那覇市をはじめとして都市化しているところではここまでのように思いますが、後は沖縄がどのようにするかという事だと考へています。

沖縄のやる気・本気を見たいと思います。沖縄で会社をつくり、沖縄でEV車を組み立て、沖縄小規模離島・過疎地域に供給し、本土市場を狙っていく、最終的には世界の小規模な国に輸出していけたら沖縄の製造業が活性化するのではないかで

は使いやすいと思います。

過疎地域や都市地域にも合うものというのは、なかなか考えづらいと思います。今回のターゲットにしているのは、小規模離島や過疎地域という事ですから、その狙いにブレがでると目的を見失うことになりかねません。

この車は沖縄でつくる初めての車ですが、スケジュールはどのように考えていますか？

スケジュールも提案させていただきますが、しかし沖縄がどのようにするかが一番だと考えています。

つまり、私たちの仕事の主目的はここまでのように思いますが、後は沖縄がどのようにするかという事だと考へています。

沖縄のやる気・本気を見たいと思います。沖縄で会社をつくり、沖縄でEV車を組み立て、沖縄小規模離島・過疎地域に供給し、本土市場を狙っていく、最終的には世界の小規模な国に輸出していけたら沖縄の製造業が活性化するのではないかで

令和5年6月議会
一般質問予定

用途に合わせた離島用EV車が小規模離島で走る

小規模離島にこれまで光が当たらなかった

エイムという会社の方針は、大量生産ではなくても、地域にあった車をつくる。

- 1 4人乗りの車に二人しか乗らないのであれば2人乗りをつくる。
- 2 観光地には観光用に合う車をつくる
- 3 停電の時は、車のバッテリーで家の電気がつく。
- 4 バッテリーは充電するのではなく、交換する方式をとる



何故、小規模離島なのか？

小規模離島・過疎化地域だから導入できる秘密

- 1 従来の車のようなスピードは必要ない。
- 2 一回の充電(電気自動車)で100キロ走ればいい
- 3 スピードを控えて、バッテリーが小さくなれば、車の価格が安くなる。
- 4 走るという機能以外の余計な部品を抑える



鈴木社長 私たちと大手企業の違いは、私たちは技術を売っている会社なので、その技術で（沖縄でつくる車）作ってほしいという事です。つまり、沖縄企業が沖縄でつくる

吳屋県議 やはり市場が大きい方がいいという事だと思いますが、ではなぜ今度のプロジェクトに至ったのでしょうか？

鈴木社長 小規模離島という事でしたら、考えていた以上に面積・人口がありました、大手企業をはじめとして考えなかつたことはないと思います。

しかし、市場が小さいだけに積極的にではないと思います。

吳屋県議 小規模離島である久米島に専用EV車導入

がこれまでなかつたのでしょうか？

鈴木社長 小規模離島という事でしたら、考えていた以上に面積・人口がありました、大手企業をはじめとして考えなかつたことはないと思います。

しかし、市場が小さいだけに積極的にではないと思います。

吳屋県議 小規模離島である久米島に専用EV車導入

がこれまでなかつたのでしょうか？

鈴木社長 小規模離島といふ事でしたら、考えていた以上に面積・人口がありました、大手企業をはじめとして考えなかつたことはないと思います。

しかし、市場が小さいだけに積極的にではないと思います。

吳屋県議 小規模離島である久米島に専用EV車導入

がこれまでなかつたのでしょうか？

全国最後の防災ヘリの配備

沖縄県の離島や過疎の災害に対応する防災ヘリが着々と配備が進んでいます。配備へのカウントダウンに入った感があります。

私は、県議会の議場で何度も質問をしてきましたが、やっとここまで来たという感じがします。

ただ、気になるところはまだまだあり、四十一市町村が一つにまとまなければ導入に無理がある中、一つの市がまだ合意を見ていないことや、防災ヘリ基地が、中城村にある消防学校にすることなどが、課題のような気がしていますし、夜間の飛行は当面の間行わないなど、修正が必要なことがあります。

このプロジェクトは平成三十年の調査書が出て止まった

この「沖縄県消防防災ヘリ」導入は、沖縄県が平成二十九年に調査を行い、「防災ヘリ導入に係る調査検討報告書」が翌年三月に提出されました。ところが、それ以来この事業は

停滞していました。

この「沖縄県消防防災ヘリ」導入は、令和二年十二月までなかなか進まず、棚上げになっていたことは確かにありました。

私の肌感覚で振り返ってみると、令和二年十二月の一般質問から「防災ヘリのスタートだったなあ」と感じたところです。

これまでの問題点はどこにあった?

この事業の「沖縄県消防防災ヘリ」導入は、県も取り組んでいたと考えていますが、四十五市町村が防災ヘリ導入に理解を示してくれなかつたことで停滞することになったことは確かです。

現在、四十一市町村が一つになって防災ヘリ導入が決まりました。

「うるま市」がいまだに賛同していないという事がありますが、組織の在り方に問題があるという事であります。

これは、中途半端なことであり、今後のスケジュールも議会では示せずにいました。



写真素材フォトライブラリーより

今現在の課題点はどこにあるのか?

今の課題は、次の通りです。

一、組織をどのようにするか

現在、県は市町村消防隊員から出向させて対処する考えだが、ここにうるま市の指摘を受けています。

県主導で専従職員にすべきだとう事です。

二、ヘリ基地をどうするか

現在、県は中城村にある消防学校に拠点を置くとしているが、近隣には米軍普天間飛行場があり問題です。また、常に訓練が必要な消火訓練や救助訓練にはこの場所では難しいと感じています。

三、夜間の活動はしばらく行わない。宮古・八重山は陸上自衛隊へ

現在、昼の急患には「ドクターヘリ」が対応しているので安心だが、夜の活動はこれまで通り陸上自衛隊へお願いするという事であります。

更に、宮古・八重山地域はこれまで通り、自衛隊にお願いする事です。

これは、中途半端なことであり、今後のスケジュールも議会では示せずにいました。

宜野湾市を中心とした広域で火葬場建設を

令和5年6月議会
一般質問予定

現在、市民の圧倒的なニーズは、宜野湾市に「火葬場をつくってほしい」という事です。このことは、県議会議員の仕事ではなく、市が中心にならなければなりません。

県議としての努力目標としては、市長に要請したり、話し合いを行い、みんなでつくるという機運を高めていくことだと考えています。

今年の目標は、基本的な考え方を整理して、場所までは目途付けしていくこととしています。是非、市民の皆さんも火葬場建設に注目していただきたいと思います。

宜野湾市松川正則市長



対談相手



宜野湾市の火葬場の考え方

呉屋県議 市長、宜野湾市の懸案事業である、火葬場の問題についてですが、市民はとても困っていると思うのです。

実は、私も最近父親を亡くしたばかりですが、豊見城市まで火葬に行きました。

現状はどのような進捗状況ですか?

松川市長 今まで進めていたのは、現在ある火葬場にタイアップする方法を考え、対策しましたが、やはり

松川市長 十九kmの中に基地が三分かりますが、豊見城市まで火葬に行きました。

松川市長 私は、宜野湾市の中に火葬場をつくるというのは難しいと考えています。市長の意見はどのように感じますか?

松川市長 今まで進めていたのは、現在ある火葬場にタイアップする方法を考え、対策しましたが、やはり

松川市長 松川市長

私は、宜野湾市の中に火葬場をつくることはできないと考えていますが、これまでののような手法ではなかなか進まない、と考えています。新たな取り組みを考えるべきです。いかがですか?



PIXTA 写真素材より

松川市長 そこのところは、宜野湾市長として責任を感じています。だからこそ四年間で火葬場をつくりたいと力を入れています。



うるま市 中村正人市長

私の議会活動のワークとして、県内の渋滞対策があります。1972年（昭和四十七年）時の沖縄の人口は、九十五万九千人でした、埋め立てをして県の面積は多少増えたとしても、大きく増えたわけではありません。令和三年の県人口は、百四十八万人を超えたことがあります。その中で、四輪・二輪を含めて百万台あまりが走っているですから、渋滞することは当然のことかもしれません。ましてや、県内には米軍基地が点在することで渋滞が加速しています。

現在、県が進めるはしご道路計画は思つたほど進んでいるように思えません。沖縄振興計画のもと、高率補助で行う道路建設も思つたほど進んでいません。道路事業の補助率は県道で九割補助、市町村道は八割補助（他都道府県は五割補助）であり、もっと道路の渋滞対策を行うべきだと考えています。



対談相手

うるま市・中部の事を 議論しましょう

吳屋県議

中部地域の道路状況について伺いますが、道路（県道）についてですが、問題はありませんか？

中村市長

県道の考え方は、市町村をつなぐ役割ですね、南北はある程度整備されていますが、東西に難があります。

つまり、はしご道路計画が進んでいないという事ですか？

中村市長

そうかもしれません、市内は良くなっていますが、読谷や嘉手納へのアクセスが悪いですね。

**高速から勝連方面へ
つなぐ東道路導入へ**

道でつなぐという事ですか？ それとも高速道路からジャンクションとして分離させるという事ですか？

中村市長

高速からの枝線です。うるま市が主張し進めている東道路は広大で生活環境が大きく違う地域を一つにするためには最低限必要な道路だと考えています。

吳屋県議

うるま市の中心と勝連・与那城地区とは生活環境が大きく違います。運用は難しいのでは？

中村市長

大きく違うことは感じています。

ですが勝連・与那城地区を具志川と同じにするつもりはありません、特徴をどのように生かすかが重要な点です。

勝連・与那城地区は第一次産業が中心であり、具志川地区とは違いますが、第一次産業を活性化するに道路事業は重要だと考えています。

つまり、はしご道路計画が進んでいませんが、読谷や嘉手納へのアクセスが悪いですね。

吳屋県議

この、東道路は重点として考

から現在の状況にあり、基地を避け集落ができている感じがしていますし、宜野湾市のように危険な基地という感覚はありません。

ただ、現在の状況が嘉手納町や読谷などとの経済活動がないのも基地に邪魔されている感じがします。

吳屋県議

今現在、うるま市の道路問題がありますか？

中村市長

やはり、面積が八十七km²（県下六位）に十二万五千人が暮らす広大な面積を守るというのは、楽ではありません。

都市化と過疎化の二面性持った市ですから、その差を縮めていくには道路問題だと思います。

まず、うるま市の南の海側には県が埋立てた工業用地がありますが、高速とのアクセスが悪く、高速道路への乗り入れを現在考えています。

しかし、過疎や離島だからできることがあります。

中村市長

長年基地と付き合ってきましたが、私自身は生まれ育った時

村長になって10年 これから宜野座は？

対談相手

宜野座村 當眞淳村長

全体で課題を共有することは大切であり、小さな市町村だけでは要望が通らないと感じています。

北部問題は、大型プロジェクトの情報しか県議会に来ないのは何故？



私は、これまで小規模離島の事や本島の過疎地域対策を重点に行なってきましたが、どのような問題点がありますか？

吳屋県議

島議会が北部の過疎地域によく足を運んでいるのは聞いています。

一番の問題は、県が推進するはご道路の問題です、県道で東と西の道路を早く進めてほしいが、なかなか進まない問題や赤土対策も進んでいないことは、私たちも頭が痛い問題です。

當眞村長

例えば、ホテルが多い恩納村と金武町・宜野座村とのアクセスが良くなれば、宿泊の恩納村と観光を進めることができると思います。

ところでも私は数年前から北部地域の人工透析の問題を解決したいと思っていましたがこのことも道路問題は関係します、宿泊客に透析者がいれば、宜野座・金武町の病院を使うことができます。

現在どうなっていますか？

當眞村長

やはりこの問題も県には進めてほしいと考えています。

観光客の人工透析を確立することは北部観光に大きく貢献できると考

県立北部病院の 課題はどこにあるか

対談相手



病院といえば現在、盛んに議論されていると思いますが、県立北部病院のことは順調に進んでいますか、課題はどこにあるのですか？

吳屋県議

病院といえども、現在、盛んに議論されていると思いますが、県立北部病院のことは順調に進んでいますか、課題はどこにあるのですか？

當眞村長

私たち北部地域にとっては大事な政策のひとつです。

私たち北部は、取り残された感があります。

當眞村長

その中にあって、基幹病院の開設は期待が大きいことは確かです。

開設にあたる課題は、やはり建設補助金が高率になるか低率になるかで今後の病院の維持に大きく関係していくことと、この病院の人材確保が焦点になります。

全国的に医師・看護師不足の中にあっての入院確保ですからかなり厳しいですね。

道路問題は関係します、宿泊客に透析者がいれば、宜野座・金武町の病院を使うことができます。

當眞村長

やはりこの問題も県には進めてほしいと考えています。

観光客の人工透析を確立することは北部観光に大きく貢献できると考

えています。

當眞村長

私は宜野座の病院に導入を